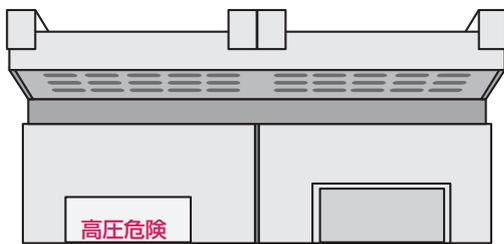


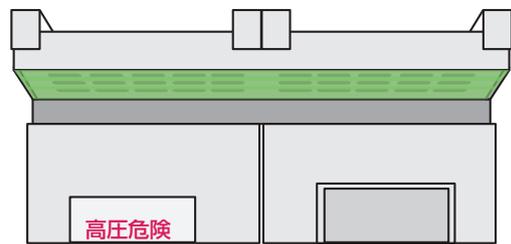


屋外キュービクルの雨・雪を伴う強風時対策

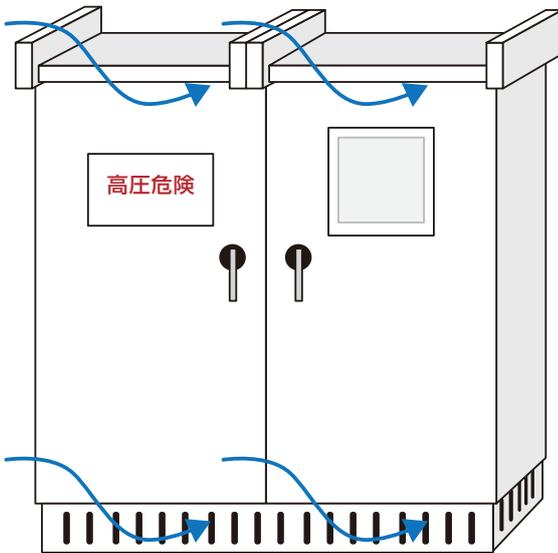
雨・雪を伴う強風時において、キュービクル内に雨・雪が吹込み、停電事故になってしまう恐れがあります。このようなトラブルを防ぐ為、以下の点を確認いただきまして、ご対応頂けますようよろしくお願いします。



処置前

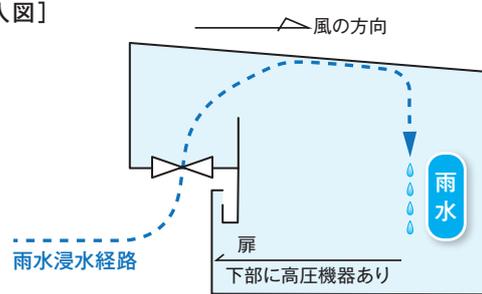


処置後



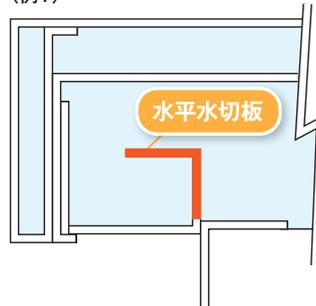
上の図のように異常気象時に横風等により、キュービクルにある通気口から雪・雨が浸入し、停電に至るケースがあります。

[雨水浸入図]

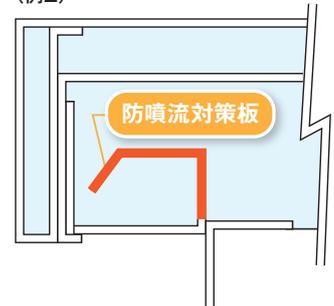


[雨返し構造例]

(例1)



(例2)



対策

キュービクル屋根下通気口に養生テープ等を貼る事により、トラブルになる確率を大幅に下げることが出来ます。異常気象が予想されましたら、事前に対応していただく事を推奨いたします。なお、通気口は変圧器等の熱を放出する為のものですので、夏季は塞がないようお願いいたします。また、水平水切板や防噴流対策板においては1986年2月にJIS C 4620「キュービクル式高圧受電設備」が改正され「防噴流試験」が追加されておりますが、念の為、目張り等の対策をお勧めします。1986年1月以前の製造品やそれ以降に製造されたものでもJIS規格非適合品にあっては上記対策等の適切な暴風雨対策を実施することが必要となります。